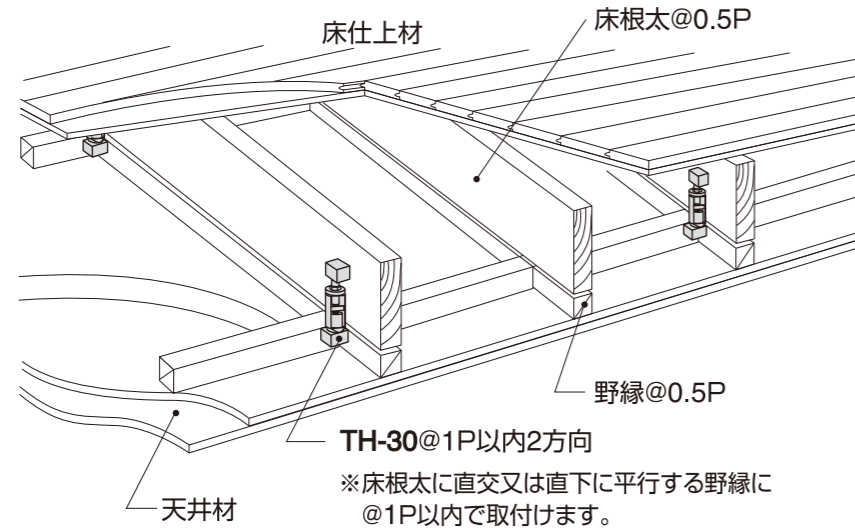
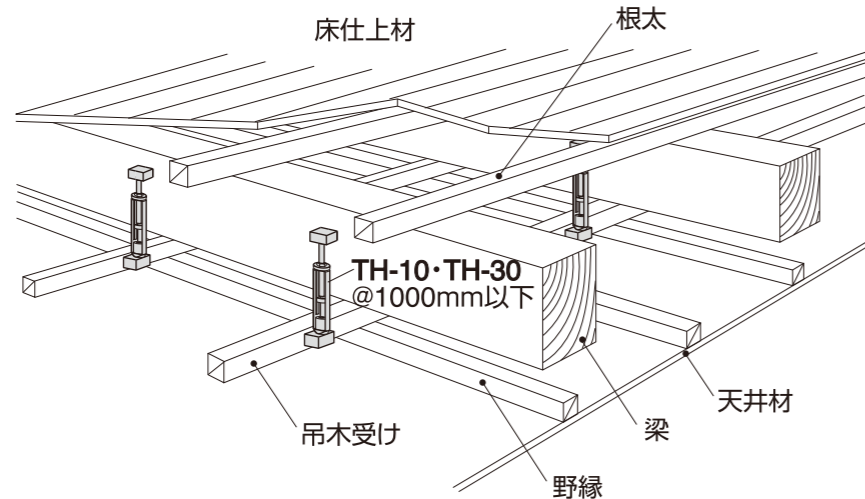


● 枠組壁工法



● 木造軸組工法



製品仕様

品名	防震吊木(2×4工法用)	防震吊木(在来軸組工法用)
品番	TH-30	TH-10
色・柄	黒	
寸法	長さ:177~217mm (長さ調整範囲40mm)	長さ:277~399mm (長さ調整範囲122mm)
実用荷重	1本当たり30kg	
材質	FRPP+クロロプレングム	
梱包	40本/ケース(20本×2小箱)	
付属品	施工説明書2通	



本社:〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-14-1
Tel.072(868)6611(代) Fax.072(868)6687

◎本製品に関する技術上のお問い合わせは **フリーダイヤル[J]0120-106011**

防震吊木

TH-30(2×4工法用)・TH-10(在来軸組工法用)

施工説明書

この度は防震吊木TH-30・TH-10をお買い求めいただきありがとうございます。正しく据え付けていただくため、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、施工してください。

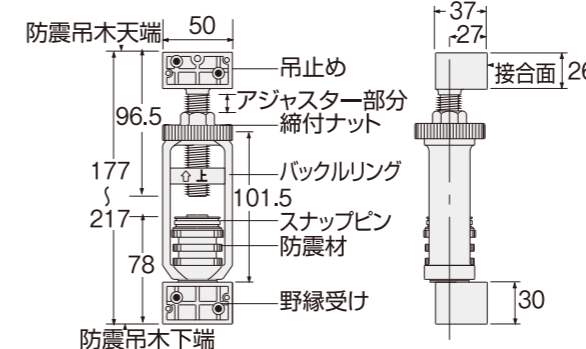
※住宅金融支援機構の定める仕様書並びに「防震吊木TH-30・TH-10を用いた省令準耐火構造特記仕様書」に準じ施工してください。

⚠ 注意

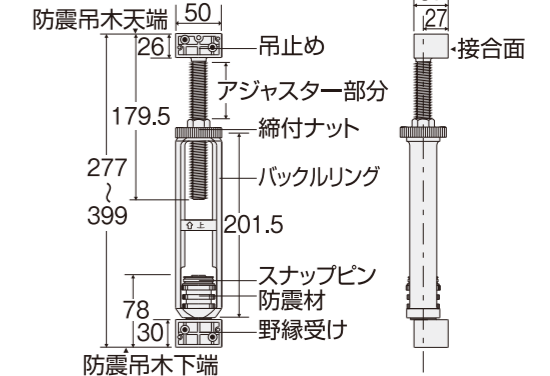
⊘ 禁止	防震吊木は材質上、接着剤の効果は望めません。接着剤の併用は避けてください。
	防震吊木に対して、必要以上の打撃を加えないでください。
	2階根太には取り付けしないでください。(TH-10)
! 指示に従う	吊止めを上、野縁受けを下にして使用してください。
	防震吊木を取り付ける際は、釘(CN-65)かビス(4φ、ℓ=50mm以上)を上下各2本、計4本にて固定してください。
	防震吊木は必ず垂直に取り付けてください。施工後、天井面のタレ下がりや防震吊木の破損につながる恐れがあります。
	設備機器(エアコン)等の天井吊具として使用する場合は、木部材の介助を行ってください。(TH-10)

製品寸法図(単位: mm)

● TH-30



● TH-10



施工に先だって

- ・ 防震吊木を使用する長さに予め調整しておいてください。
- ・ 防震吊木の締付ナットは予めゆるめておいてください。

施工手順

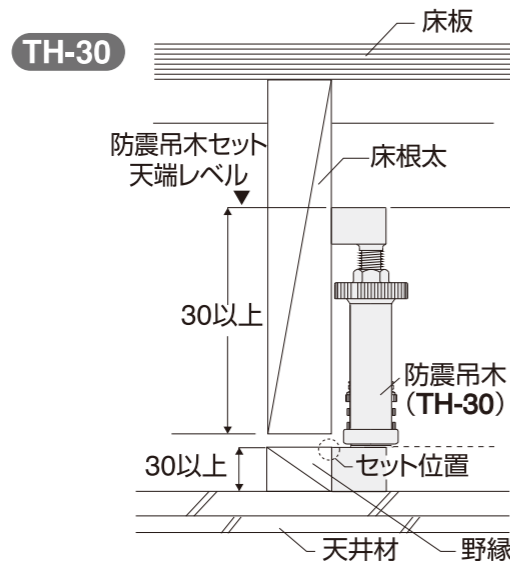
1 吊木の取付け方法と配置

I. 枠組壁工法の場合

枠組壁工法による住宅の吊天井に用いる吊木は、TH-30を使用します。

- ① TH-30を床根太の側面に間隔1P(1000mm)以内(XY2方向)に釘(CN-65)×2本、またはビス(4φ、ℓ=50mm以上)×2本を使用して取付けます。
- ② TH-30の上端を、床根太の下端より30mm以上上がった位置に合わせます。
- ③ 野縁にTH-30の野縁受けを取付けます。
この場合、野縁の上端とTH-30の野縁受けの上端が一致するようにしてください。
- ④ TH-30の長さ調整は、バックルリングを回して(右回転=上がる、左回転=下がる)行います。

●吊木の取付け方法 (枠組壁工法の場合)

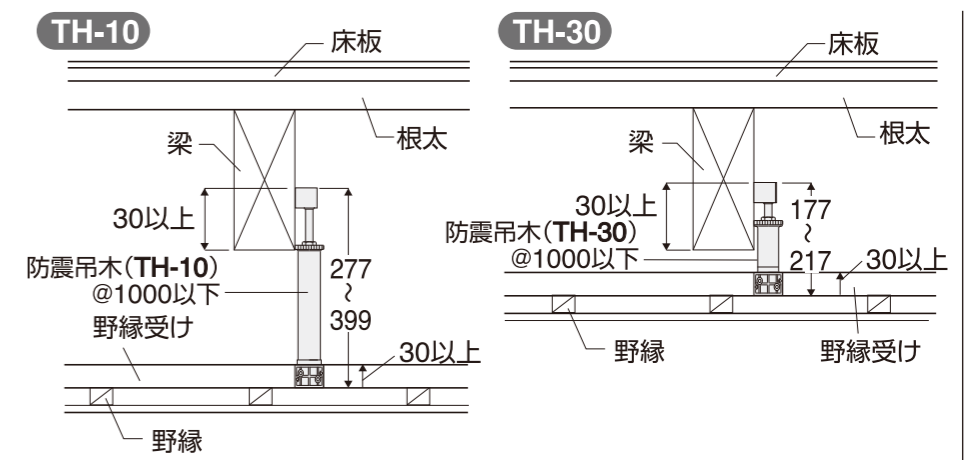


II. 木造軸組工法の場合

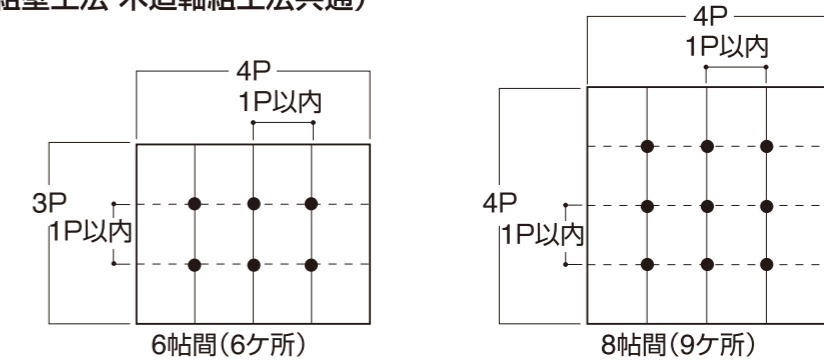
吊天井に用いる吊木は、TH-30またはTH-10を使用します。

- ① TH-30またはTH-10を床梁の側面に前後左右おおむね間隔1P(1000mm)以内(XY2方向)に釘(CN-65)×2本、またはビス(4φ、ℓ=50mm以上)×2本を使用して取付けます。
- ② TH-30またはTH-10の上端を、床梁の下端より30mm以上上がった位置に合わせます。
- ③ 野縁または野縁受けにTH-30またはTH-10の野縁受けを取付けます。この場合、野縁または野縁受けの上端とTH-30またはTH-10の野縁受けの上端が一致するようにしてください。
- ④ TH-30またはTH-10の長さ調整は、バックルリングを回して(右回転=上がる、左回転=下がる)行います。

●吊木の取付け方法 (木造軸組工法の場合)

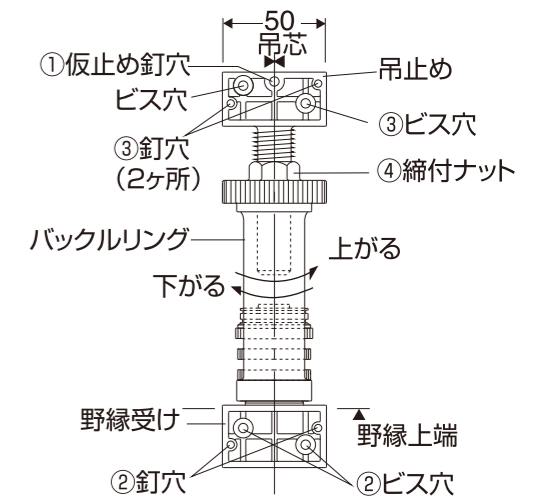


●吊木の配置例(枠組壁工法・木造軸組工法共通)



2 吊木の接合方法

- ① 防震吊木の吊止め上部(吊芯線上の仮止め釘穴)に釘またはビスを打込み、防震吊木が垂直に吊り下がるように仮止めします。
- ② 防震吊木の野縁受けの上端が、野縁の上端と一致するように、バックルリングにて調整した後、野縁受けの釘(ビス)穴を使用して釘(CN-65)×2本、またはビス(4φ、ℓ=50mm以上)×2本にて、野縁(野縁受け)に固定します。
- ③ 吊止めの釘(ビス)穴を使用して釘(CN-65)×2本、またはビス(4φ、ℓ=50mm以上)×2本にて、吊止めを固定します。
- ④ 天井野縁のレベル調整が完了した後、バックルリングの真上にある締付ナットにて、バックルリングを固定してください。



3 その他接合時の注意

床根太の側面(又は材厚)と野縁の側面(又は材寸法)が揃わない場合は、床根太と平面直行する格子野縁の交点を、吊り込み位置として使用してください。

●床根太と野縁の側面が揃わない場合

